

## 第3学年〇組 道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）

授業者

1 主題名 親友なら相手信じて

2 ねらい 友達との関わりについて、多面的な感じ方、考え方を出し合い吟味することを通して、友達を信じることの大切さや難しさについて理解し、友達を信頼しようとする態度を育てる。

教材名 「たまちゃん、大好き」（出典：「新しいどうとく 3」東京書籍）

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容について

本内容項目は、友達関係をよりよくする土台となる、信頼することの大切さを扱う。信頼とは自分だけでなく、相手の関係性の中に存在し、見返りなく、裏切られることもあるが、それでも信じようとする態度であり、相手の立場に立って考え、理解し、助け合うことで友達関係がより深まり、友情が育まれていく。

第3学年の児童は、自分の利害損得にこだわり、相手のことを考えずにトラブルになるということが少なくない。この発達段階を踏まえ、友達を信じることの大切さについて考えさせること、また、信じることの難しさについて理解させることが重要である。

指導に当たり、友達とのよりよい関係について考えさせ、友達の大切さを実感できるように指導することが大切である。

（2）これまでの学習状況及び児童の実態について

4月から「自ら考え判断する」ということを行ってきた。様々な場面で自己決定する場面を設けることで、先を見て考えられるようになってきた。場面絵から問題を想像し、自分だったらこう行動するだろうという考えをもつことができる。しかし、実際の場面では、冷静に考えず、自分の思いのままに友達の考えを想像せず行動したり、分かっているのにも関わらず、自分中心に考えて行動したりして上手に友達関係を築けない児童も少なからずいるのが実態である。

（3）教材の特質や活用方法について

本教材は、まる子とたまちゃんがタイムカプセルと一緒に埋めに行こうと約束をした。しかし、待ち合わせした場所にいつまで立ってもたまちゃん来ない。そのことに腹を立てて、タイムカプセルを捨ててしまう。たまちゃんが許せないまる子の心を考え、たまちゃんの気持ちに心を向けて、その事情を考えたり、たまちゃんの思いを想像したりして、友達のよさを理解し、ずっと仲良くしていこうと思うようになる内容である。

まる子の心の根底にある心の中を中心に探り、許せない理由と、自分も悪かったという思いについても吟味することで、多様な道徳的価値観に触れさせる。さらに自己の生き方について考えを深められるように「深化的な問い」を投げかけることで、児童が考えたことのない領域へいざなうことで、道徳性を更新させていきたい。

#### 4 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点☆評価の視点
導入	1 二人の関係からどんな友達がよいか、場面絵から考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優しい友達</li> <li>・なんでも相談できる友達</li> <li>・遊んでくれる友達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のよさをたくさん出させ、友達に関心を向けさせる。</li> </ul>
展開	<p>2 教材を読んで考える。</p> <p>(1) 約束していたたまちゃんが来ない。一人でポツンと待っているときのまる子のどんな気持ちでしょうか。</p> <p>(2) いつもはたまちゃんと帰る道で一人、下を向きながら帰るまる子の心の中はどんなでしょうか。 ※それぞれの理由を問う</p> <p>※用事があったという理由であってもまる子は許せないか</p> <p>※たまちゃんは、まるこなら分かってくれると思っていたのではないか</p> <p>(3) 涙を流すまる子はどんな気持ちでしょうか。</p> <p>3 これまでの自己の在り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早く来てよ</li> <li>・遅いよ</li> <li>・イライラする</li> <li>・帰ろうかな</li> <li>・たまちゃんなんて嫌い</li> <li>・ひどい</li> <li>・謝って</li> <li>・酷いこと言っちゃったな(腹を立てている)</li> <li>・約束したから</li> <li>・自分が損した気分だから(悪かったな)</li> <li>・仕方がない</li> <li>・急用なこともあるから</li> <li>・言いすぎたから</li> <li>・わかってあげられなくてごめんね。</li> <li>・ずっと友達でいようね</li> <li>・信じることができる友達がいる。</li> <li>・相手のことを考えていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怒っているときの気持ちに共感させ、つい自分の都合だけを感情に出してしまう弱さを認識させる。</li> <li>・児童の考え方を整理し、「腹をたてている」「悪かったな」に分け、理由を問う。</li> <li>・多様な考え方に触れさせるため、グループで吟味し、自己の生き方について考えさせる。</li> <li>☆友達を信じることの大切さについて気づくような発言が見られたか。</li> <li>・友達を信じる気持ちを高めさせていく。</li> </ul>
終末	3 教師の話を書く ノート記入		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の説話から本時をまとめ。</li> </ul>

## 5 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・友達を信じることの大切さや難しさについて、多様な考え方に触れながら考えている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・親友を信じるのが大切であり、つい怒ってしまうこともあるが、信じられるようになりたいと発言している。

### 【板書写真】

たまちゃん 大好き



**親友**  
相対  
大の仲よ  
遊ぶ  
いつも一緒  
あいてくれる  
コンビ



大きらい  
なんでもない  
心配  
うやうや切  
あきらめ  
あては  
かせ  
架し献求に



おこえる  
心配  
わかるなあ  
行ける  
い  
行いき

＜腹を立てる＞  
いかり  
寒い  
長い時間  
約束したのに

＜悪がたな＞  
まし → うらた  
ゆるらあければ  
自分勝手だ  
たまちゃんの用事 → しつない  
自能



第8回 道徳

あたま  
たまちゃん  
分かってあげられなくて  
いすぎたな  
たまちゃんの手持ちに  
カゲルなくて  
21の利み